

**次期総合計画・都市計画マスタープラン
星が丘地区まちづくり会議報告書**

平成30年7月

星が丘地区まちづくり会議

目 次

(課題と対応方策)

1	道路・交通	P 1
2	住環境・生活環境	P 2
3	自然・環境	P 3
4	【重点】産業・観光・商店街	P 3
5	安全・安心	P 4
6	健康・医療・福祉	P 4
7	教育・子育て	P 5
8	生涯学習・文化・スポーツ	P 6
9	【重点】地域コミュニティ	P 6
	会議経過	P 7

1 道路・交通

現状と課題

星が丘地区では、高齢者が関係する事故が増えております。今後、ますます高齢化が進行する中、高齢者を含め住民が、車や自転車に頼らなくて済むような、利用しやすい公共交通機関が求められています。

また、地区内の道路では、白線や歩道の緑線が消えかかっていることにより、歩道に自動車がかみだして走行している危険な箇所があります。さらに、街路樹（けやき）の根が張り舗装を持ち上げ、歩行者の通行の妨げになっている箇所があることや、大雨の際に道路に水が溜まる箇所があるなど、道路環境の整備が課題となっています。

対応方策

- ・歩行者専用や自転車も走行できる歩道、自転車専用道などが、誰にでも認識できるように、標識だけでなく路面にも表示をする（行政）
- ・神奈川中央交通が実施している「かなちゃん手形」の周知を図り、高齢者のバス利用を促進する（行政・市民）
- ・高齢者が車の運転をしなくて済むように、安価で使い勝手の良い移動手段を導入する（行政）
- ・緑道のような、歩行者専用道をつくり、歩行者の安全を図るとともにベンチなどを設置し、交流の場とする（行政）
- ・信号のない十字路は、夜間危険なため、道路の中央に自発光式道路鋳を設置する（行政）
- ・路面の表示が消えかかっているものを引き直す（行政）
- ・古いタイプの側溝は、隙間があり、自転車や歩行者が足をとられる可能性があるため、隙間のない、現在の側溝へ更新を行う（行政）
- ・大雨の際に水が溜まらないように、道路のくぼんでいるところは底上げをするなど水が流れる工夫をする（行政）
- ・十字路のカーブミラーが片方しかない場所があるため、両面にカーブミラーを設置してもらうための要望を行う（行政・市民）

2 住環境・生活環境

現状と課題

星が丘地区では、カラスがごみ・資源集積場所を荒らすなどのごみに関する問題があり、その対策が求められております。また、ごみの分別や出す時間を守らない人がいるなど、住民のマナーについても課題となっています。

人口減少を迎えるなかで、今後、空家が増加し、防犯上の問題が生じることが懸念されており、空家の植木が道路や隣接する民家にはみ出しているも、所有者の許可なく切ることが出来ないなどの課題があります。

対応方策

- ・ 民有地を借用し、専用ボックスを設置できるよう検討を行う（市民）
- ・ ごみ収集の有料化や戸別収集の検討を行う（行政）
- ・ 空家の活用の検討を行う（行政・市民）
- ・ 所有者の許可なく植木を切れるような制度の検討を行う（行政）



3 自然・環境

現状と課題

星が丘地区では、公園や広場などの子どもの居場所となる遊び場が少ない状況です。また、今後、高齢化が進行する中で、高齢者が健康に過ごすために運動ができる施設が必要です。

対応方策

- ・子どもの遊び場を確保するため、学校の校庭やプールを利用できる体制を地域が中心となって検討する（市民）
- ・公園は、子どもの遊び場だけでなく、災害時等の避難場所としても活用できるため、箇所を増やす検討を行う（行政）
- ・公園の遊具の取替時に、子どもから高齢者まで利用できる健康遊具等を設置する（行政）

4 【重点】産業・観光・商店街

現状と課題

横山公園など大きな公園の駐車場について、利用者以外が無断で駐車していることがあるため、公園を利用したい人が利用できない状況があります。

対応方策

横山公園など大きな公園の駐車場を有料化（民間活用）するとともに、24時間開放にし、市の収入の確保を行う（行政）

5 安全・安心

現状と課題

星が丘地区では、防犯灯がLED化されたことや防犯カメラが設置されたことで、夜間、道が明るくなるとともに防犯対策が図られておりますが、区内にある三角公園については、夜間照明が暗く、防犯上問題があります。

また、高齢者を狙った振り込め詐欺などの特殊詐欺の発生や、自転車走行中のスマートフォンの利用やスピードを出して歩行を走行するなど、交通マナー（特に大人）が課題となっております。

対応方策

- ・防犯カメラの設置箇所を増加することで防犯対策を強化するとともに、振り込め詐欺などの犯罪防止に役立てる（行政・市民）
- ・高齢者をはじめ大人を対象とした交通安全の教育を実施する（行政・市民）
- ・地域活性化事業交付金を活用した、自転車マナー教室や保険加入の啓発を実施する（行政・市民）
- ・車と同様に自転車も取り締まる体制の強化を行う（行政・関係機関）
- ・ひばり放送が聞こえにくいいため、女性の声にするなど遠くまで通る声で放送する（行政）
- ・三角公園への防犯灯の増設など、夜間に公園が明るくなるよう対策を行う（行政・市民）

6 健康・医療・福祉

現状と課題

夜間の緊急時の対応は、まずはメディカルセンターでの対応となるが、メディカルセンターは、各区に1つしかなく、小さな子供を抱えた人や交通手段がない人が受診するのが難しい状況です。また、待ち時間が長いなど、夜間診療に課題があります。

対応方策

- ・市内の医療機関と連携し、メディカルセンターではなく近くの医療機関で受診が出来るような体制を整備する（行政）
- ・夜間に受入ができる医療機関を増やす（行政）

7 教育・子育て

現状と課題

星が丘地区では、子どもが安心して自由に遊べる場所が少ないなど居場所づくりが課題となっており、特に雨の日の居場所づくりが必要です。また、子どものスマートフォンの利用により、交友関係のトラブルも発生しております。

市内の小学生・中学生の学力が低下しており、学力向上に向けた対策が必要です。

対応方策

- ・星が丘小学校での放課後子ども教室を実施する（行政）
- ・学校の空き教室を利用し、放課後子ども教室のような場所を設置するとともに、校庭も開放し17時まで遊べるようにする（行政）
- ・こどもセンターの活用や学校の校庭、プールを開放する（行政）
- ・こどもセンター・児童クラブで子ども達が安心して自由に遊べる環境づくりを行う（行政）
- ・元教師などのボランティアを募り、公民館や学校の空き教室を利用した勉強会を実施する（行政・市民）
- ・土曜日授業を復活して、授業数を増やし市内小学生の学力の向上を図る（行政）
- ・小・中学生のスマートフォン利用を親がきちんと管理する（市民）
- ・子どもの通学の安全確保のため、学校の近くだけでなく、通学路にも防犯カメラを設置する（行政・市民）

8 生涯学習・文化・スポーツ

現状と課題

星が丘地区では、今後ますます増える高齢者の退職後の生きがいづくりとそのための場所の確保が課題となっております。

また、子どもと高齢者など、世代間の交流を行うための場所も必要です。

対応方策

- ・高齢者の退職後の生きがいに、趣味や役割、居場所づくりが大切であることを伝える。また、そういった場所を提供する（行政・市民）
- ・自治会館の開放。自治会館に隣接している場所を買い取り（市からの補助）居場所や交流場所を確保する（行政・市民）

9 【重点】地域コミュニティ

現状と課題

星が丘地区では、自治会館、デイケアセンターなど高齢者が集う場所が増え、いきいき百歳体操やグランドゴルフなどを実施し、高齢者の居場所づくり、生きがいづくりなどを実施しています。また、星が丘ふれあいフェスティバルや防災訓練など、地域活動への参加者が増えており、地域の結束が強くなっております。

一方、自治会の加入者の減少や子ども会の子ども・役員の減少が課題となっております。

また、人が自然と集まれる場所の創出や多世代交流など、更なる地域活動の活性化が必要です。

対応方策

- 時間を気にせずに自然に人が集まる場所を創出する（行政・市民）
- ・子ども会の意義について、子どもや親に対して伝えるとともに、組織の簡素化などによる負担の軽減を図る（市民）
- ・多世代が交流出来る場所やイベント（フリーマーケットなど）を実施する（市民）

会議経過

日程	会議内容	委員出席数
平成30年 3月19日	第1回 ・地域の課題（良くなった・悪くなった点）の抽出	18名
4月16日	第2回 ・課題と対応方策検討	18名
6月18日	第3回 ・課題と対応方策検討	19名
7月17日	第4回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	19名

